

ていた患者さんにとっては、平針駅からかなり近く便利だったと思いますが、平針記念クリニックは平針駅から遠くなりました。このため、こうした不便さを解消するためにミニバンタイプの車による送迎サービスを行うようにしました。この送迎サービスの提供で特に不便さは感じず、逆に便利になったという声もいただいています。

Q.送迎サービスは、希望する患者さんであれば誰でも利用できますか。

鍋島院長／希望者全員が利用することができるということではありません。利用できる患者さんは、基本的にはある程度お元気で、自分で立てて歩けることができ通える人です。送迎車は救急車ではないので、医師など医療従事者は同乗していないからです。

Q.平針記念クリニック周辺に透析施設は多いですか。

鍋島院長／天白区内での通院透析のみの透析施設は平針記念クリニックだけです。

Q.ところで、クリニック名を平針記念クリニックにした理由は。

鍋島院長／「平針」という地名を付けることによってクリニックの所在地が分かりやすく、また、「記念」を付けたのは、名古屋記念病院が母体であることを知っていただくことにあります。名古屋記念病院が「平針の記念病院」として地域の方々に広く知られていることから、新クリニックの名称として平針記念クリニックが採用されました。

Q.透析の規模は。

鍋島院長／現在は50床です。月、水、金、と火、木、土、各々昼と夜に透析を行っているので、マックス200人の患者さんを受け入れることができるようになっていきます。将来は100床まで増やす予定です。

Q.平針記念クリニックの特色は。

鍋島院長／先ほども言いましたが最新で、

最先端の透析機器（コンソール）を一人ひとりの患者さ

んのベッドサイドに導入していることです。透析は血液から直接老廃物を除去する治療ですが、その間いろいろな作業が必要になります。このコンソールは作業量が少なくなくて済み、清潔に、かつスピーディに操作ができるという利点があります。

Q.名古屋記念病院の関連施設としての利点は。

鍋島院長／平針記念クリニックで透析を受けている患者さんの中で高度な治療が必要になった時には、比較的速やかに名古屋記念病院に（患者さんを）搬送することができるなどの体制が取れることです。これは大きなメリットだと思います。

Q.緊急時対策としては確かなシステムと言えますね。

鍋島院長／例えば、透析単独のクリニックの場合、何らかの緊急の検査や治療の必要性が生じた場合、搬送する病院を探すのに手間取ったりするケースが往々にしてあります。このような場合、平針記念クリニックは、名古屋記念病院が地理的にも近く、元来の母体である医療施設でもあるためにアクセスが容易であるというメリットがあります。

Q.確かに、後ろ盾として名古屋記念病院が存在しているということは患者さんにとっては心強い限りですね。

山崎師長さんは患者さんと接するときにはどんなことを心がけていますか。

山崎師長／平針記念クリニックは静かで、環境もよい場所にあるので、患者さんが安らげるような空間を作り、安心して透析を受けていただけるように努めています。



最新の設備を備え、ゆったりとした透析室

また、透析は患者さん自身の自己管理が強く求められるので自己管理の大切さを伝えていきます。

Q.看護師に対してはどんなことを指導していますか。

山崎師長／まず、透析の技術をしっかりと学び、自信を持って患者さんへの対応ができるようにと言っています。そして、患者さんの気持ちをくみ取り、患者さんの言っていることをしっかりと聞き、それを理解して看護の現場で生かすように指導しています。

Q.透析患者さんに対して強調したいことは。

鍋島院長／まず、処方された薬はきちんと服用してほしいということと、食事に対する自己管理ですね。食事療法の基本は塩分制限で、これは大事なことです。それとタンパク質の摂取、中でもリンの摂取には患者さん自身が十分に注意してほしいです。

Q.平針記念クリニックの今後の目標は。

鍋島院長／患者さんに安心して透析を受けていただけるように、より安全性の高い医療を提供することと、より合併症を少なくする。さらに、より良好な予後を目指すために質の高い医療を実現することです。



平針記念クリニック

〒468-0021 名古屋市天白区天白町大字平針字大根ヶ越199番地
TEL 052-800-1300 FAX 052-800-1315
ホームページ <http://www.hospny.or.jp/hirabari/>